     年     月     日

様式10-1

**同志社大学赤ちゃん学研究センター**

**新型コロナウイルス感染症に関する特別研究課題 申請書**

同志社大学　赤ちゃん学研究センター

センター長　板倉　昭二　殿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請機関 | 名　称： |  | |
|  | 住　所： |  | |
|  | 研究責任者※1　職　名: |  | |
|  | 氏　名： |  | 印 |

同志社大学赤ちゃん学研究センター（以下、「当センター」という。）が公募する「特別研究課題」に応募して研究を実施いたしたく、以下のとおり申請いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| **内容** | **詳細** |
| 研究課題名 |  |
| 研究分野  ・対象とする分野に☑をお願いします。 | 発生学分野　　 統計学／情報学分野  政策学分野（福祉学、経済学等を含む）  心理学／教育学分野  看護学分野　　 人間学分野（倫理学等を含む）  その他（　　　　　　　　） |
| 研究の実施体制 | 研究責任者※1の所属・職名・氏名：  研究分担者の所属・職名・氏名・役割：  研究分担者の所属・職名・氏名・役割： |
| 試料・情報の取得  ・当センターで実験・調査を行う場合、参加者のリクルートは、当センターが行います  ・当センターの設備を利用して  実験・調査を行う場合、別途、  「設備の利用申請」が必要です | 新たに取得するため、以下の施設で実験・調査等を行う  同志社大学赤ちゃん学研究センター  申請機関の施設  その他の施設（名称：     　　　　　　　　　　　）  以下の施設が保有する既存試料・情報を用いる  同志社大学赤ちゃん学研究センター  申請機関の施設  その他の施設（名称：     　　　　　　　　　　　） |
| 倫理審査申請 | 必要とする  必要としない（理由：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 研究予定期間※2 | 研究許可日～     年３月３１日（共同研究終了予定日） |
| 申請者 | 所属・職名・氏名：  連絡先：[TEL]  　　　　[FAX]  電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ： |

※1：研究責任者とは、研究の実施に携わるとともに、所属する研究機関において当該研究に係る業務を統括する者と定義します。

※2：特別課題の研究は研究費の予算執行が伴うことから1年間です（公募年の翌年3月31日まで）。

|  |
| --- |
| **研究の目的及び赤ちゃん学・新型コロナウィルス感染症との関連性について** |
|  |

※3：本研究が赤ちゃん学を通じて新型コロナウイルス感染症により急激に変化する社会に貢献できる内容であることを含めて、特に次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

①研究の学術的背景（本研究に関連する社会的動向、着想に至った経緯、これまでの研究成果を利用・発展させる場合にはその内容等）

②研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

③本研究が社会的に貢献できる具体的理由・学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

|  |
| --- |
| **研究の計画・内容　　※4（適宜スペースを変更してください）** |
|  |

※4：研究目的を達成するための研究計画・方法について、次の点を含めて、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

①研究計画を遂行するための研究体制の全体像

・研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究責任者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性

・連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等）とともに行う研究計画である場合は、連携研究者及び研究協力者の具体的な役割（図表を用いる等）

②本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況

③使用機器、解析対象や解析方法（統計解析等）等、研究目的を達成するための具体的な研究方法

④研究対象者から新たに情報を取得する場合は、研究対象者の選定方法及び人数、インフォームド・コンセントの取得

方法、個人情報の取扱い等

⑤研究が当初計画どおりに進まない時の対応

⑥研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わる場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等

|  |
| --- |
| **課題の緊急性、社会貢献度について** |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| **内容** | **詳細** |
| 研究費財源  ・申請費目にチェックを入れ、  内訳は必要に応じ、増やして  ください（上限：40万円）。  ・灰色文字は見本です。  実際のものに置き換えて  黒字にして申請ください。 | 旅費交通費（ 50千円）  　 内訳：国内学会（東京）移動 30千円 ×1  　　　　 国内学会（東京）宿泊 20千円 ×1  消耗品費（ 190千円）  　 内訳：ハードディスク1TB 10千円 ×1  　　　　 ○○試薬20g 50千円 ×3  　　　　 ○○用ソフトウェア 30千円 ×1  諸謝金（ 160千円）  　 内訳：参加者謝金 1千円 ×1時間×90人  実験補助者謝金 1千円 ×7時間×10日  通信運搬費（ 千円）  　 内訳：  印刷製本費（ 千円）  　 内訳：  会議開催費(施設設備賃借料)（ 千円）  　 内訳： |
| 利益相反 | なし  あり  　 対応： |
| 研究成果の公表方法※５ | ホームページに情報を掲載  　 ホームページの名称：  　 ホームページのURL：  論文等の学会や学術誌等での発表をもって公表とする  その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　） |

※5：これらとは別に、赤ちゃん学研究センターのホームページで公開する研究成果の発表動画を作成いただきます。

以　上